

## インドエキサイド社と二輪車用 VRLA 電池に関わる 技術援助契約を締結

### Technical Assistance Agreement for Motorcycle VRLA Battery was Concluded Between FB and EXIDE in India

弊社はインドの EXIDE INDUSTRIES LTD. 社 (以下、エキサイド社) と二輪車用 VRLA 電池に関わる技術援助契約を 2007 年 3 月 9 日に調印致しました。エキサイド社はインド国内に 7 つの工場を持ち自動車用、二輪車用 (いずれも開放型) 及び産業用の電池を生産しており、自動車用、二輪車用の電池は現地の自動車メーカー (日系含む) に数多くを納入しているインドでも有数の電池メーカーです。

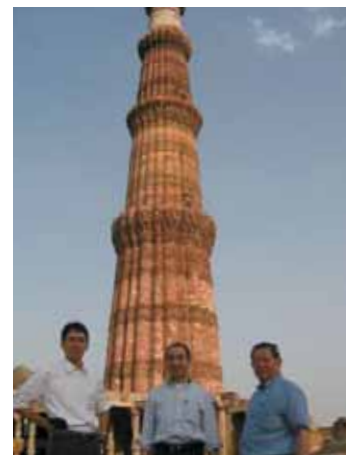
インドにおける弊社の事業展開は 1986 年に STANDARD BATTERY 社 (以下、SF 社) との「自動車用電池の技術援助」に始まり、その後 SF 社がエキサイド社に買収されたあとも Taroja 工場を対象に技援助契約を継続し現在に至っています。

近年のインドは目覚ましい発展途上にありモーターゼーションは日本を含めた先進国の自動車メーカーの参入もあり拡大の一途を遂げています。二輪車市場も 100cc 前後の小型車をメインに台数が飛躍的に伸びています。現在インドのオートバイ用の電池は殆どが開放形ですが、日本や欧米、タイなどはユーザーの利便性や安全性を追求したメンテナンスフリーの VRLA 電池が広く普及しています。インド市場も今後同様な流れになる可能性があり、将来のインド市場を見据え、今回の「二輪車用 VRLA 電池に関わる技術援助契約」の締結に至りました。今回の契約では Taloja 工場に加えて二輪車用電池の生産工場の Bawal 工場も対象となりました。

VRLA 電池にはこれまで日本やタイの SFC 社で培ってきた技術及び品質に対するコンセプトを電池仕様に盛り込むよう設計を進めています。

今後は現地のオートバイメーカーにアプローチを行いながらターゲットを明確にし、弊社とエキサイド社で協力しながら VRLA 電池の開発を進めていく予定です。

6 月の始めに VRLA 電池のプレゼンテーションを行うため初めてインドを訪問し、今回契約した Bawal 工場を見学しました。工場関係者の年齢層は若く、明るく前向きに仕事に取り組んでいる印象を受けました。それ以上に印象に残ったのがインドの常識を超えた交通事情と暑さです。Bawal 工場はデリー市内から 1 時間ほど車で移動したところがありますがその間の移動は生きた心地がしませんでした。交通法規は無いに等しく恐らく現地の人間にしか分からない阿吽の呼吸で町全体が動いているようでした。また訪問時が最も暑い時期だったこともあり Bawal 工場の中をほんの数秒歩くだけで全身から汗が噴き出しました。その日の夜のニュースで Bawal 周辺の最高気温が 48℃ と聞き、インドにおける VRLA 電池の普及には文明と文化が混沌と交じり合った社会環境への配慮に加え、尋常ではない温度環境を十二分に考慮する必要があると認識させられました。



(国際部 菊池 二三夫)

(自動車電池事業部 技術部 外崎 直人)